



Obihiro Aoi Gakuen Information

学校法人 帯広葵学園

学園通信

◆2019年（令和元年）5月20日発行

◆Vol.22

故きを温ねて、新しきを知る 〰 葵学園のあしあと 〰

命…新しい試みの実施

平成17年、葵学園が経営する帯広の森幼稚園（定員220名）とつづしが丘幼稚園（定員240名）の総園児数は、ちょうど400名でした。平成13年には423名を数えていましたが、徐々に下降線を描き始めたのです。

その時思い起こしたのが平成9年の決断です。

当時は源照学園といっていました。三つの幼稚園を経営していました。この三つの幼稚園は平成2年には総園児数633名を数えていたのですが、7年後の平成9年には432名に減ってしまっただけです。

減少数201名は一つの幼稚園が消えたことに匹敵します。特にそれまで法人を支えてきた歴史ある幼稚園二つは園児数をどちらも100名を割っていました。

このことに危機感を覚えた理事会は三つの幼稚園を二つに統合し、経営の立て直しを決意したのでした。その結果は、その後3年間、総園児数は400名を割りますが、4年後には423人まで回復できたのでした。

さて、平成17年の総園児数400名

学校法人帯広葵学園

理事長 上野 敏郎

の事実を目の当たりにしても、前と同じ方法を取ることはできません。幼稚園の統廃合はいかに難しいかを葵学園は学習していました。それに財政的にもギリギリの状態だったのでした。

そこで検討されたのが、幼児教育の中身を見直すことでした。葵学園の教育方針の一つに「生きる力を身に付ける」ことがあります。この言葉の持つ意味を「命の大切さを知ること、学ぶこと」と置き換え、おびひろ動物園を会場に今でも継続している「人間たつて動物Day」のプログラムが生まれました。

北海道新聞（夕刊） 2005年（平成17年）10月4日（火曜日）

ひびの上に置いたモルモットと触れ合う園児たち



命の重み肌で実感 園児が小動物と触れ合う

おびひろ動物園

帯広の森幼稚園の園児たち。モルモットと触れ合う姿が、命の大切さを学ぶ一助となる。葵学園は、動物園での体験学習を、園児たちの心に残るような形で実施している。園児たちは、動物の生態や習性について学び、命の大切さを肌で感じる。また、動物の飼育員やボランティアスタッフと交流し、動物の大切さを学ぶ機会を得ている。この取り組みは、園児たちの成長に大きく貢献している。葵学園は、今後もこのような取り組みを継続し、園児たちの心豊かな成長を支えていく。

この事業のヒントは、当時群馬県が実施していた「獣医師が支援する動物介在教育」にありました。群馬県では「子どもを育てるなら群馬県！」とスローガンを掲げ、動物を介在した養育心の育成と命の教育を具体的に実施していました。

この事業を参考にして葵学園では、小さな動物の心臓の音を子ども達が直接自分の耳で聞くことで、命の大切さを学び取って欲しい、生きることの大切さ、同じ命も持つ友だちを思いやることの大切さを感じ取って欲しいという願いを込めたのです。

この平成17年にスタートしたこのプログラムは、これからも葵学園の特色ある教育として大切にしていきたいと考えています。



学校法人 帯広葵学園

〒080-0022

帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F

TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778

URL <http://www.obihiraaoi.ed.jp>



帯広の森幼稚園



つづしが丘幼稚園



緑陽台保育園



012 青い鳥保育園



あおいキッズハウス



あおいとり



柳町保育園



東土狩保育所・南中保育所・西中保育所